

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

2014-2015 Rotary International District 2760

ガバナー月信

3

2015 March



二十五丁橋

※掲載されている写真等の無断転載はご遠慮ください。

二十五丁橋

尾張名所図絵や名古屋甚句で名高いです。板石が二十五枚並んでいるところから二十五丁橋と言われます。名古屋最古の石橋です。



ガバナーメッセージ	2	委員会報告	9
識字率向上月間	3	お知らせ	16
国際協議会に出席して	4	ロータリーデー開催報告	17
ガバナー活動報告	5	ロータリーコーディネーターニュース	21
ガバナー公式訪問報告	6	文庫通信	22
I M報告	8	会員数及び出席報告	23



▲ 読・書・算

ガバナーメッセージ

ガバナー 近藤 雄亮

皆さんこんにちは。1月29日をもちまして、私の3つの力を入れてやりたいことの1つでありました全84クラブ個別公式訪問を無事終えることができました。全クラブ大変温かく迎えて頂き、深謝申し上げます。残された期間を頑張り、お役目を全うしたいと思いますので、皆様方の温かいご声援、ご協力を宜しくお願い申し上げます。本当に有難うございました。

ところで今月は識字率向上月間です。1975年識字の為の国際シンポジウムで出されたペルセポリス宣言では識字を「単に、読・書・算の技術習得にとどまらず、人間の解放と、その全面発達に貢献するもの」と定義づけています。ロータリーでは1997-98年度RI会長 グレン・キンロス氏が“地球の生活水準の向上は、その地域の識字率の向上と深い関係がある”ことを強調し、世界のロータリアンに識字率向上運動を強く呼びかけました。そしてRIの識字率向上プログラムは「ライトハウス(灯台)作戦」と名付けられました。灯台が安全な航路を示すように識字を通じて人々に歩む道を示すことを目的としています。世界の色々な国で村単位の様な狭いコミュニティでは昔からその村の長あるいは家長から伝統、儀式、物語、生活手段などが口伝に伝承されました。しかし、他の村との共同、あるいは一つの国単位、さらに最近の様に世界が一つの大きな経済圏になってきますと多くの人達に多くの情報を流す為にどうしても口伝だけでは無理で文字での伝達が必要になります。大規模社会の中では識字者と非識字者の間で自ずと力の差が出ます。例えば自国では識字者の人でも外国で生活する場合、その国の言葉が分からないとか、文字が書けない場合非識字者となり色々な場面で不利になります。所謂先進国家と言われる国の中にも非識字者は大勢いるのです。グローバル社会になった今、強者の論理のみで弱者を利用するだけ利用するという事は止めるべきであると思います。前述のペルセポリス宣言を頭に入れ、本当にその国あるいは貧しい人達に識字のもつ意味を理解してもらい、その国の文化・言葉・慣習を残しつつ識字率が向上するようロータリアンは貢献すべきだと思います。日本がかつて江戸時代、幕府や大名達の指導で米や野菜の耕作面積が広がり、結果人々が食べることをはじめ、生活に余裕ができ、寺子屋ブームが起き識字率が世界一になったという事を考えれば、発展途上国の人達がどうしたら衣・食・住に困らない生活になるかが大変重要な問題だと思います。昨年シドニー国際大会本会議で新世代の人達に心に残る奉仕活動を発表する場を与え、ロータリアンが感動する機会を与えました。その中の一つを紹介したいと思います。発表者はカナダで生まれ育ち、何不自由なく暮らしていた女の子ですが、高校生の時国連へ行く機会があり、そこで自国の内戦に巻き込まれて亡くなった少年の写真を見て人生観が変わりました。そして18歳の時ロータリーの青少年交換プログラムでトルコへ行き、グローバルコミュニティを知りました。自分は果たして世界でどんな奉仕活動ができるだろうかと迷った結果、識字率向上に目を向けたそうです。そしてコンピューターに強くなることによって識字率改善を図ろうと思い、フィージーでタブレットを寄付し学校内外でタブレットの使い方を教えているそうです。当然タブレットを使う為に文字の読み書きを教えることも同時に行っています。そしてもう一つタブレットを稼働させる為に自分達で自家製の充電器を作ったという話です。今、彼女の目標はDigital learning roomをフィージーで100ヶ所作ることだといっていました。自分にこの様な変化をもたらしてくれたロータリーに大変感謝していますと言って締めくくりました。これこそ持続可能で効果が見える奉仕活動ではないでしょうか。若い人達の考え方、行動にロータリーを教えられた一幕でした。

会長・幹事・会員の皆さん宜しくお願いします。

Shall we contribute for Peace of the World by Raising up the Literacy Rate.



識字率と危機管理

地区危機管理委員長 黒田勝基



識字率と危機管理に関して、大いに関連があると私は感じています。まず、世界的に見て、識字率が低い国で、危機管理上問題であるとよく言われています。例えば危険地帯のタテ看板や、薬の効能と副作用に関する文言が読めないため危険を危険と察知できないということが言われています。このような一般的な識字率向上に関しては、R財団の6分野の一つである『基本的教育と識字率向上』という分野での奉仕プロジェクトの活性化・協力をお願いすることに尽きると思います。R財団は、我々の財団です。我々が奉仕するために寄付をし、かつ我々が奉仕を行うためにR財団資金－地区補助金・グローバル補助金－を引き出すということです。

では、日本ではどうでしょうか？ 識字率と危険予知・防止との関係はいかなるものとして考えればいいのでしょうか？日本の識字率という指標は世界でも有数の高い国であり、江戸時代からの継続の歴史があります。識字率という指標はただ単に文字が読めて、表面的に理解ができるという評価で理解されるべきでしょうか？それが正しいとすれば日本では、もはや識字率という概念すら日本国内では過去の遺物として処理されてしまうのではないのでしょうか。

この日本における識字率の問題は、当地区パストガバナーが、全日本人のインターネットという文字媒体に対する活用・浸透がまだ十分でないこと、特にロータリアンに対しては、その傾向が強いのではないかという問題提起がなされました。ロータリーの組織（個人を含む）に対しネットを活用した地区・クラブ・ロータリアン個人の管理レベル向上のためのロータリークラブ・セントラルの活用が提案されています。表面的な識字率改善ではなく、時代に即した変化が必要になっていると考えます。

また、大きな問題として、我々日本人は過去の情報を十二分に活かすという面での識字率は完全なののでしょうか（時系列的情報に対する感度）？また、世界の情報や状況を活かすという面での識字率（空間的文化的広がりとの差異に対する感度）は、昨今の情報化社会と言われるほどには十分活用されているのでしょうか？

過去の経験としての文字や標識に表されている情報に対する感度に関しては、我々は3.11の大震災を経験しました。その時何が起こったか？過去の情報を本当に身近のものとして受け止めていたのでしょうか？津波被害や過去の災害の状況はしばしばその土地の『標識』や、地名、言伝えに表れています。地震や火山噴火、大水（山崩れ・）なども起こってから昔の記録にあった、ということがよく言われます。また、世界のニュースはいろいろな媒体であふれるほど毎日我々に届けられます。それを活用するか、あるいはある一面だけで判断するか、など、我々の受け取り方によって大きくその「濃さ」が違ってきます。このような事例は、いわば識字率のある違った側面ではないかと考えます。表面的な書き物とは違う、本当にそこに含まれている『真の意味：警告』を理解できていないと。

ロータリーの組織上の理想とは、その地域・時代の縮図であるべきである、と私は入会時のキーパーソンに言われたことをいまでも覚えています。まさに、いろいろな角度からの、いろいろな分野からの、いろいろな立場からの人々で、縮図としての地域の声を聞くことができるという、危機管理上からも最適な情報収集手段だと考えます。

『集まろう・語ろう・楽しもう』まさに広い意味での識字率向上推進し、危機管理の立場からの危機防止を企画し実践し高める言葉ではないのでしょうか。

国際協議会に出席して

ガバナーエレクト 加藤 陽一

2015 年国際協議会がアメリカ・カリフォルニア州・サンディエゴで開催されました。

1 月 18 日から 25 日まで一週間にわたり、全世界のガバナーエレクトが 500 人以上（内、日本人は 34 名）参加し、朝から晩までぎっしりのスケジュールで勉強して参りました。

1 日目の午後の本会議で万国旗の登場後、RI 会長エレクト・K.R. ラビンドラン氏より 2015-16 年度の RI テーマが発表されました。

テーマは「Be a gift to the world ～世界へのプレゼントになろう～」。

ラビンドラン氏はスリランカ出身でヒンズー教の信者だそうです。

その教えの中で、“人の評価はどれだけ得たのではなく、どれだけ与えたかによって判断される”という所から考えられたテーマだそうです。

国際協議会では毎日、全員参加による本会議と日本のガバナーエレクトだけのワークショップとアイデア交換会が 4 時間程開催され、ロータリー全般について討論して参りました。

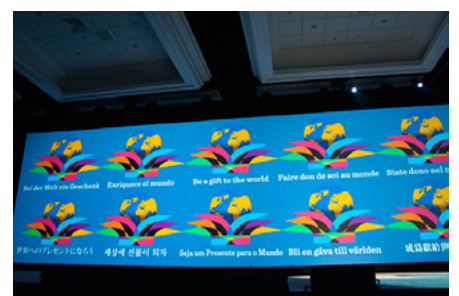
これは先輩ガバナーからも聞いていましたが、とてもハードな毎日でした。一方、同期の 34 名のガバナーエレクトの皆様と情報交換も出来、とても楽しい時間を過ごし、今後のガバナー活動に大変役に立つものと思いました。

滞在中には、「国際祭りの夕べ」の時間があり、各国の色々な出し物があり、私達は全員で「さくらさくら」を披露し外国のロータリアンから拍手喝采を頂きました。

また、一晩だけダウンタウンのお寿司屋さんで美味しい日本食をいただく時間もありました。

この様な、大変有意義な一週間の国際協議会の経験はガバナーとしての一年間の仕事に大変役に立つものと信じてますが、これからはガバナー補佐の皆様はじめ多くのロータリアンのお力を借り、2760 地区のロータリアン全員の皆様と楽しく、ロータリー活動に頑張る所存でありますので、宜しく願い申し上げます。

最後に、本年度の RI テーマについては色々と考えておりますが、「世界へのプレゼントになろう」を「世界へ奉仕できる人になろう」と考えれば何となく胸に落ちる様に考えますがいかがでしょうか？ロータリアンの皆様と考えましょう。





ジャパンロータリーデー (パート II) in 東京に参加して

地区職業研修チーム (VTT) 委員会 委員長 / 第2回 WFF 実行委員会 副委員長 福田哲三

昨年11月3日の「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」(WFF) 最終日に続く日本で2回目のジャパンロータリーデーの催しに参加してきました。北 RI 理事と杉谷 RI 理事の呼びかけにより実現したもので、WFF での第1回ジャパンロータリーデーの際に国連デーと重なって来日できなかったゲイリー・ホアン RI 会長ご夫妻をお招きしようと企画されました。当地区からの参加者は近藤 DG、斎藤 PDG、松前 PDG、加藤 DGE、深谷 ARRFC、高須地区幹事、杉浦元ガバナー補佐、尾本地区 IT 委員長、加藤千種 RC 会長、小嶋東海 RC 会長、榊原半田南 RC 会長と私の12名でした。全国からは田中元 RI 会長ご夫妻はじめ、主催者である北 RI 理事ご夫妻 (杉谷 RI 理事は急用のためご欠席) のほか元 RI 理事など多くのシニアリーダーや地区ガバナーを含め、北海道から九州まで全体で約750名が出席し、再会を喜ぶ声や記念撮影、名刺交換など賑やかな一日となりました。

ホアン会長からはジャパンロータリーデーへの謝辞や日本のロータリアンへの激励、新しい会員の皆さんへの「自らに自信を持ち、友人を作り、積極的に活動して下さい」というアドバイスが送られました。また「一期一会」という言葉を日本語で発音され、人との出会いの素晴らしさにも触れられました。ホアン会長は息子さんとお嬢さんが慶応大学と早稲田大学に通われるなど、日本との縁も深くお持ちです。また、台湾の「ハッピー・クラブ」という手拍子の遊びを全員に指導し、会場全体の和やかな雰囲気作りにも大いに貢献されました。前日ミャンマーから東京入りし、翌日ネパールへ移動というハードスケジュールの中で終始柔和な笑顔で会場を盛り上げていただいたホアン会長ご夫妻は、控え室でもスタッフの皆さんに気配りされる優しいご夫婦でした。

この日第1部では全国から寄せられた12件のロータリーデーの催しの映像が紹介され、最後に当2760地区のジャパンロータリーデー in 愛知 (WFF) について5分間のビデオとともに WFF の趣旨や目的について説明してきました。当日朝に電話で受けた籠橋 WFF 実行委員長 (名古屋中 RC) からの激励を背に、他地区の皆さんの参考になるよう丁寧な説明を心がけました。続く第2部では「年代別に年会費が徐々にアップする」というスライド制会費を導入しているユニークなクラブなどが紹介されました。

盛り上がる第3部の晩餐会では、近藤 DG がガバナー会 (仁禄会) の皆さんと、加藤 DGE は先日までサンディエゴで一緒だった他地区の同期 DGE の皆さんと、さらに次年度から RI 理事に就任される斎藤 PDG は同じテーブルに囲まれた RI 元理事たちと楽しく歓談され、一方では撮影担当の尾本地区 IT 委員長がカメラを抱えて忙しく移動される姿が印象的でした。

開催に向けご尽力された北 RI 理事と杉谷 RI 理事のお二人はもとより、裏方として会場運営を担当された町田会長以下浦和東 RC の皆さん、大変お疲れ様でした。





名古屋名駅ロータリークラブ

開催日 2015年1月21日(水)

報告者 クラブ情報委員会 委員長 萱垣 建

平成27年1月21日、当クラブ第1112回例会に第2760地区近藤雄亮ガバナーと高須洋志地区幹事をお迎えしました。当日は会員83名のうち63名が出席しました。

各種報告・食事の後、近藤ガバナーからお話がありました。(1)ゲイリー・ホアンRI会長のお話を引用され、ロータリアンとして多くの人と付き合うことが大切であること (2)ロータリアンが知っているようで知らないロータリーの歴史の流れのお話 (3)ガバナーになるためのアメリカ国際協議会の研修では、「ロータリーは感動である。感動をシェアする組織である」と悟ったことなど、いずれのお話もロータリアンとして大変示唆に富む内容で、ロータリーを再認識する機会になりました。



名古屋錦ロータリークラブ

開催日 2015年1月27日(火)

報告者 幹事 工藤悦子

平成27年1月27日、近藤雄亮ガバナー、高須洋志地区幹事をお迎えして、ガバナー公式訪問が行われた。例会に先立ち、会長、幹事等役員との懇談会では、WFFについて、多数の市民の参加、ロータリー活動の周知の成果のほか、地区の委員会の在り方や集金方法について新基軸が打ち出せたと強調された。

また、卓話では、自らの生い立ちからはじまり、ロータリーのすばらしさを、親睦と奉仕の両面から語っていただき、特に、奉仕の精神は、二宮尊徳の「利他の精神」と共通するといった、造詣の深いものであった。

最後に、例会終了後の自由討論では、社会奉仕の在り方や会員増強の方法について、貴重なアドバイスを頂くなど、大変有意義な公式訪問であった。





名古屋アイリスロータリークラブ

開催日 2015年1月28日(水)

報告者 会長 荒山久美/幹事 藤森 淳

2015年1月28日水曜日11:30から、当クラブ例会場であるANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋の7階会場にて、近藤雄亮ガバナーと高須洋志地区幹事をお迎えして第76回例会を開催致しました。

例会前に5役懇談会を実施し、近藤ガバナーに当クラブの成り立ちや特色等を説明致しました。例会は12:30~13:30に通常通り行いました。会員の殆どが新人ということから、近藤ガバナーの卓話の全てが勉強となり実りの多い例会になりました。「会員の意思のある寄付のやり方」、「マイロータリーの活用」、「当クラブで出来るどこにも負けない奉仕活動のやり方」等についてご指導いただきました。

自由討論の時間では、ガバナーご訪問のこの機会を待っていたかのように「自分にとってのロータリー」についての疑問点をベースに質問がなされ、30分間には収まりきれない程の討論となり、設立間もない当クラブにとっては大変有意義な例会、討論会となりました。



名古屋瑞穂ロータリークラブ

開催日 2015年1月29日(木)

報告者 幹事 堀 慎治

平成27年1月29日(木)近藤雄亮ガバナーの84クラブ目の最後の公式訪問が高須洋志地区幹事と共に行われました。当日は、例会前に会長・副会長・会長エレクト・副幹事と共に懇談会が行われ、希望の風奨学金への継続的な支援のお願いと、名古屋瑞穂ロータリークラブ会員の今までの支援協力について感謝の意を表されました。

また、卓話では今まで半年間のガバナー行事についての話をされ、残りの期間の当クラブの益々の支援協力を要請され、当クラブ・会員としても今まで以上に支援協力しようという機運になりよい例会となりました。





西尾張分区 IM報告

西尾張分区担当 ガバナー補佐 野杵 章夫

2月7日に西尾張分区IMを名鉄ニューグランドホテルにて開催致しました。9クラブより多数のご出席を賜り盛会な会合を持つ事ができ衷心より感謝しております。

2760地区IMは「集まろう 語ろう 楽しもう」のテーマで親睦に重きを置きました。西尾張分区のロータリアンが一同に集い、楽しんでいただく為に華も咲かせました。

本日の会で会員同士の絆が強まり、友情を一層深める事が出来たならば幸せであります。西尾張分区の9クラブがいつまでも仲の良い交流が続く事をご祈念申し上げます。





2015年度米山奨学生選考会報告

地区米山奨学委員会 委員長 伊藤 敦夫

2015年1月17日（土）午前9時から17時まで名古屋国際センタービル5階において、2015年度米山奨学生の第3次選考（最終面接試験）を近藤ガバナー、田嶋米山記念奨学会理事、中島ガバナー補佐、堀地区スタッフと面接官18名、合計22名、6班編成にて面接を行いました。各面接官は将来日本と世界を結ぶ「懸け橋」となる人材を見出す為に応募のあった留学生の研究小論文や将来の目標などを審査、面接において、日本語コミュニケーション能力やロータリー活動への積極性などを考慮しながら最終面接を行いました。午後3時より最終合格判定会議を開き、今回申請のあった留学生は通常応募と海外直接応募で84名であります。この中から通常応募から29名と補欠4名を選考、海外応募の面接を2月5日に行い、1名を選定します。継続奨学生6名を含め2015年度奨学生は36名になります。合格した留学生の出身国は中国、韓国、モンゴル、タイ、ベトナム、ネパール、台湾、スリランカ、マレーシア、アメリカ、ドイツ、ウズベキスタン、と12か国になります。奨学生の選考は地区が指定する大学から推薦された外国人留学生を米山記念奨学会と地区選考委員会で書類の1次審査（10月下旬）、2次審査を経て面接試験（1月）。推薦された留学生は優れた人たちばかりで面接官も選考には苦労しましたが、国別や大学、男女の割合などバランスを考えながら合格者を決定。奨学事業の使命である日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍しロータリー活動の良き理解者となる人材を育成することにあるように、奨学生の皆さんの将来活躍することを期待します。



面接試験に臨む留学生



インドポリオワクチン投与活動報告

ロータリー財団 ポリオ・プラス委員会 委員長 横井 定

インドは、2011年1月13日に西ベンガル州で最後の野生株ポリオウイルス感染が報告されて以来、4年間ポリオ感染の報告はされておられません。現在、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリア、の3ヶ国が常在国です。昨年世界合計356のポリオ症例数があり、そのうち303のポリオ発症が様々な理由でポリオワクチン投与困難なパキスタンで、インドはまだ予断が許されない状況です。世界中から『ポリオ撲滅』が達成されない限り、いつ何処で発症するか分かりません。ポリオ発症『0』が確認されるまでNIDは継続されます。第2760地区は今回4度目のインドNID (National Immunization Day) 参加です。1月17日(土)～1月21日(水)迄、ロータリアン9名ご夫人2名の11名で活動して参りました。私達は、ニューデリーから車で東へ1時間程移動したGHAZIABAD (カジアバッド) 地区で11ヶ所を訪問しました。ここでは、2292ヶ所で5歳以下の子供31万4843人がワクチン投与を受けました。インド全体では、64万ブースで2、300、000人の投与スタッフにより、5歳以下の子供1億7千万人に接種されました。Camp地は、繁華街の一角にテントと紅白の幕、そして黄色の横断幕が目印として設営されていました。病院、学校等も利用されています。この日はインドの全ロータリアン、各地域のボランティアの方、そして世界中から参加したロータリアンが一斉に活動します。ワクチンを投与された子は、これで一生ポリオの恐怖から逃れられ未来が約束されたと思うと、心から感動致します。1980年5月8日世界根絶宣言された天然痘に次いで『ポリオ撲滅』が歴史の1ページに刻まれるまで『あと少し』です。しかしまだ多額の資金が必要と言われています。国際ロータリーとゲイツ財団は2013年～2018年迄ロータリーが『ポリオ撲滅』に寄せる寄付に対してゲイツ財団から倍額上乘せがある『ポリオ撲滅：Make History Today』キャンペーンを展開中です。今後もお一人お一人のサポートよろしくお願い申し上げます。



後ろの黄色い横断幕が camp 地の目印となります。



繁華街の一角にテントと紅白の幕で設けられた camp



テーブルの上に、ワクチン接種に来た子供の人数のチェック表。ワクチン投与後のプレゼント (お面・ボール)、小指に印す紫色のマーカーが置かれています。



ポリオワクチン2滴うまくお口に入ったネ



真剣な表情でワクチン投与されています。



第2回被災高校生支援委員会 委員会報告

地区被災高校生支援委員会 委員 笹野 暢宏

日時 平成27年1月26日(月) 16:00-17:00

場所 豊島ビル ガバナー事務所会議室

本多委員長の開会挨拶、近藤ガバナー挨拶で会議が開催されました。

ガバナーは当委員会が東日本大震災被災地の高校生33名にたいして、「3年にわたる長い期間を奨学金の支援、顔の見える心の交流事業通じて高校生を支える有意義な事業であると思います。今後も引き続き、現地を勇気づける活動を期待しています。」と、述べられました。

本多委員長から報告事項として、WFFのイベント参加の報告(岩手 二戸RC、宮城 仙台青葉RCの参加)、寄付金・入金実績及び事業収支実績について報告しました。

心の交流事業として、奨学生からの手紙、写真を披露し報告しました。

また2760地区からは桜花学園高等学校インターアクトクラブの協力でアルバムを作成し、ガバナー、各クラブ会長の手紙とともに33名の全員に、正月に間に合うように送付しました。

今後の事業として2520地区盛岡の地区大会参加、被災地視察(宮古、山田、大槌)について説明しました。

協議事項として卒業セレモニー、高専在学者についての取り扱いについて、近藤 DG、千田 PDG、田中 PDG、アドバイザー(元ガバナー補佐)、委員会の皆さんの意見が述べられました。

4月の岩手、盛岡での合同会議で意見交換をして決めることになりました。

奨学金は順調に配布され、今回はインターアクトクラブの協力で若者同士の交流ができたことが、新しい成果として報告できました。

各クラブのロータリー会員の皆様のご理解・ご協力・ご支援をお願いします。





2014-15 年度 名古屋・尾張地区新会員研修セミナー報告

地区研修委員会 委員 佐藤 正延

今年度、名古屋、尾張地区 5 2 RCからは約 120 名の登録を頂き、新会員研修セミナーを開催しました。

研修参加者からは、次のような感想が寄せられました。

- ・ 講師の成田洋之地区研修委員長の講演、「ロータリー『奉仕の変遷』と『R Iの現況』」からは、自分では学ぶ機会がなかった「職業奉仕」についての理解を深めることが出来た。
- ・ 江崎地区研修委員会カウンセラー、松前地区研修リーダーが最後の講評で訴えられた、ロータリー活動の意義、ロータリアンであることの意義、素晴らしさについては特に印象に残り、研修会がより意義深く感じられた。

また、講演後の R L I 形式でのディスカッションでは、①講話の感想、② RC への入会の動機、③ロータリアンとして今後どのように自分を高めたいのか をテーマに意見交換をする中で、ロータリーの目的、使命への理解を進める参加者の姿が見られました。

記

2015 年 1 月 31 日 (土) 午後 13 時 30 分受付 午後 14 時開会 午後 16 時 30 分閉会
於：名鉄グランドホテル

点鐘ならびに挨拶	成田 洋之	地区研修委員会委員長
講話	関口 宗男	地区研修委員会ファシリテーター
	江崎 柳節	地区研修委員会カウンセラー
	松前 憲典	地区研修リーダー
講演	ロータリー「奉仕の変遷」と「R Iの現況」 R I 2760 地区 地区研修委員会委員長 成田 洋之	
R L I 討論方式によるセミナー	研修委員会 DL	
講評	江崎 柳節	地区研修委員会カウンセラー
	松前 憲典	地区研修リーダー
閉会点鐘	成田 洋之	地区研修委員会委員長

以上





2014～2015年度 地区新会員研修セミナー（三河地区）報告

地区研修委員会 委員 高畑 皓一

2015年2月7日(土)14:00から、安城市文化センターに於いて、2014～2015年度の地区新会員研修セミナー（三河地区）が開催されました。当日は入会3年未満の新会員を対象とし、76名の皆様に参加していただきました。研修委員・細井英治の司会により、研修委員会・ファシリテーター関口宗男の開会の言葉で始まり、研修委員会委員長・成田洋之より、御多用の折にもかかわらず、多数の皆様に参加していただいたお礼と、次年度より特別月間のロータリー理解推進月間が無くなる等の最新の話題を含めて挨拶を行いました。又、松前憲典地区研修リーダーより、ロータリーの心・ESS（エンジョイ・スタディー・サービス）を大切に、更にロータリーの友等を参考にして勉強していただきたい旨の講話を頂戴しました。

その後約一時間、研修委員会委員長・成田洋之より「ロータリー『奉仕の変遷』と『RIの現況』」と題し、「ロータリーとは」から始まり、ロータリーの目的、奉仕の理念、奉仕理念の提唱者、決議23-34、例会出席の意義、職業奉仕理念の経緯、RIの戦略計画、DLP、CLP、RLI、ロータリー財団等に触れ、奉仕の変遷を説明し、RIの潮流は「人道的奉仕の実践」（例会出席よりも奉仕活動が重視される）が主体になり、ロータリークラブの存在意義が変化していて、変えてはならないものも変わってきているとして、RIとロータリークラブの現況を解説しました。

休憩の後、8グループに分かれ、当日の講演の感想、なぜロータリーに入会したか、ロータリーに期待すること、例会出席の重要性等のテーマについてRLI方式にて、45分間討論をいたしました。ワークショップ終了後、松前憲典地区研修リーダーより、「ロータリーに入会して良かったと思えるように、健康に注意して生活し、一輪の花を咲かせて下さい」との講評を頂戴し閉会しましたが、参加者皆様のロータリーに対する意識が高く、且つロータリーに対して熱心で積極的な気持ちに感動した半日となりました。最後になりましたが、当日の準備、設営、運営にご尽力いただきました安城ロータリークラブの皆様方に感謝申し上げます、報告とさせていただきます。





『地区インターアクト次期役員・委員長会議』の開催

青少年奉仕委員長 秋田 敬治 / 青少年奉仕副委員長 寺本 善雄 / インターアクト委員長 奥田 清仁

1. 開催日時：2月7日（土）15：30～17：00

2. 開催場所：名古屋 YMCA

3. 出席者 来賓 次期地区幹事 大竹一義 様

青少年奉仕委員長 秋田敬治 次期青少年奉仕委員長 寺本善雄

インターアクトクラブ役員（27名） インターアクトクラブ顧問（13名）

提唱 RC 次期委員長（10名） 地区インターアクト委員（10名）

2015年の新年を迎え、ロータリー年度2015-16年度に向けてインターアクトクラブ新役員、顧問の先生、提唱ロータリークラブの次期委員長にお集まり頂き、『地区インターアクト次期役員・委員長会議』を開催しました。次期地区幹事大竹一義様よりご挨拶を頂いた後、15-16年度インターアクト活動についての説明と、第26回インターアクトクラブ年次大会のテーマ及び発表形式の説明、インターアクトクラブ会長による次年度に向けての抱負と活動の内容についての発表が行なわれました。





2015-16 年度の為の国際ロータリー第 2760 地区 ロータリー財団補助金管理セミナー報告

地区ロータリー財団委員会 委員長 鈴木 文勝

開催日時：2015 年 2 月 10 日（火） 12:45 ～ 17:00
開催場所：名古屋東急ホテル 3 階『ルネッサンスの間』
参加クラブ：81 クラブ（欠席 3 クラブ）
参加人員：243 名

地区内全会員の皆様には、日頃よりロータリー財団に深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

近藤雄亮ガバナー、加藤陽一ガバナーエレクト、服部良男ガバナーノミニー及びパストガバナーほか特別出席者と、地区財団へのご指導を頂戴している江崎柳節 RRFC、深谷友尋 ARRFC にもご出席を賜り重ねて御礼申し上げます。

2015-16 年度のための地区ロータリー財団補助金管理セミナーは、地区内 84 クラブ中 81 クラブの代表者の皆様にご参加を頂き滞りなく開催する事が出来ました。ご参加誠に有難うございました。

今年度 R 財団補助金セミナーの特色は、補助金制度の中の「地区補助金」に関しては、補助金の特徴、補助金活用のルール、申請から決定までの流れ、補助金の支給から報告書の提出までの流れ、補助金の利用状況、補助金支給額の算出方法、補助金利用の NG 集、申請から最終報告書提出までのポイントを、松石奉之（半田 RC）補助金副委員長が丁寧に説明させて頂きました。また、グローバル補助金を如何に効果的に利用促進を図るかを皆さまと共に考えようとの思いで、「動き出したグローバル補助金事業」と題して、パネルディスカッションを開催しました。コーディネーターは櫻井繁（名古屋南 RC）補助金委員長、パネラーは野々部英夫氏（名古屋名東 RC）、藤井圓隆氏（名古屋名駅 RC）、本多 満氏（名古屋東 RC）、杉浦敏夫氏（豊田 RC）の 4 人の方々で行って頂きました。一方通行になりがちなセミナーを避ける為、対話形式のパネルディスカッションに致しました。会場からも質問や意見が出て、良い議論が出来たと思います。

10 分間のコーヒブレイクの後、福田哲三（名古屋和合 RC）VTT 委員長の事業報告、私、鈴木 R 財団委員長による最新の「授与と受諾の条件」および「クラブの参加資格認定：MOU」の説明、寄付の推進の立場から、中林正人（名古屋空港 RC）資金推進委員長より“財団の資金と個人の認証”について説明、豊島徳三（一宮北 RC）資金管理委員長と神谷研（安城 RC）資金管理副委員長より“資金管理”の側面から、補助金を活用してプロジェクトを行うための要件として、3 大履行義務（①専用口座開設、②帳簿の作成と書類の保管、③最終報告書の提出）の説明、税制優遇について、財務計画ワークシート、役員等交代による補助金専用銀行口座の管理引継確認書の説明など、限られた時間ではありましたが、お伝えしたい内容を網羅しご参加いただいた皆様に理解して頂けるように努めました。

最後には、田嶋好博（名古屋北 RC）ロータリー財団委員会カウンセラーにご講評を賜り定刻にセミナーを終える事が出来ました。誠に有難うございました。





名古屋ロータリー創立90周年記念式典報告

名古屋ロータリー会長 白石 好孝

2月3日夕刻、例会（第3247回）に引き続き、創立90周年記念式典を開催いたしました。

当日、来賓として大村秀章愛知県知事、スポンサークラブである東京ロータリークラブの加藤丈夫会長、当地区近藤雄亮ガバナーをはじめとする多くの来賓の方々（当クラブがスポンサーをさせていただいて誕生したクラブ、名古屋市内の各クラブ）をお招きし、当クラブの会員（会員数187名、出席数134名、同伴者29名を含め）総計210名により、厳粛に執り行われました。

式典は、「奉仕の理想」の斉唱、会長挨拶に続き、2014-15年度国際ロータリー ゲイリーC.K.ホアン会長より頂戴したメッセージをご紹介させていただき、大村愛知県知事、近藤ガバナーより祝辞を賜り進行いたしました。

記念卓話は、創立90周年をむかえる当クラブに60年間にわたり在籍されている盛田和昭パストガバナーより、ご自身のロータリー歴を踏まえた有意義なお話を、出席者全員でお聞きすることができました。次いで記念事業といたしまして、ロータリー日本財団ならびにロータリー米山記念奨学会に当クラブより寄付として、近藤ガバナーに目録を贈呈させていただきました。その後、第80代～89代10名の歴代会長表彰をおこない、最後にこの10年間に当クラブで在籍50年をむかえた会員の方々を紹介させていただき、代表として中部政次郎さんよりご挨拶があり式典終了いたしました。

祝宴は、大原康之実行委員長（直前会長）の挨拶に始まり、東京ロータリークラブの加藤丈夫会長に乾杯のご発声を賜り、開会いたしました。BGMとして名古屋音楽学校講師陣による弦楽四重奏が奏でられる中、来賓の方々、会員皆が和やかに親睦を深めることができました。

最後に出席者全員で「手に手つないで」を斉唱し、那須國宏副会長の閉会の挨拶により、諸行事を無事終了することができました。

ご多忙の中、また、遠方にもかかわらずご来臨賜りました来賓の皆様方、携わってこられましたすべての皆様方に心より感謝申し上げます。

また、当クラブが創立100周年にむけて、歴代会員により積み重ねられました奉仕の理想を、会員全員が胸にロータリー活動を続けて参る所存であります。



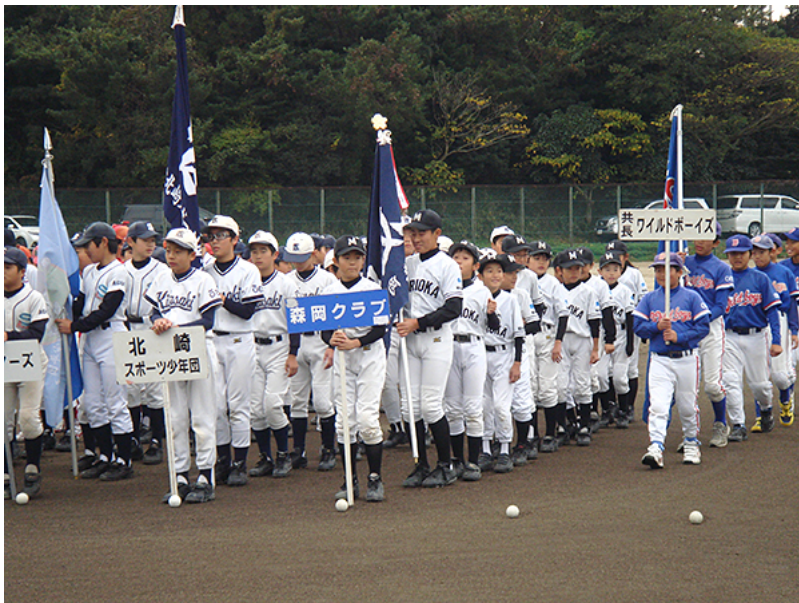


東知多ロータリークラブ

開催日：2014年11月16日（日）

報告：会長 山本 さゆり

平成26年11月16日 ロータリー杯 少年野球21世紀大会 開会式が行われました。東知多ロータリークラブと大府ロータリークラブが合同で支援している野球大会で、今年で10周年を迎えました。会員が集まり、開会式が厳かに行われました。大きな声での少年の宣誓心を打つものがありました。開会式後の2試合の始球式をロータリアンが担いました。この大会は東浦町、阿久比町、大府市の3市の少年野球チームが参加しており、ベンチ入りできなかった6年生も最後にこの大会で出場し花を飾ります。子供達に野球を通じて困難を乗り越える力、日々の練習での鍛錬、忍耐力、チームプレイの大切さを身を呈して伝えてくださっている運営者の皆様、野球チームの監督さん、お父さんお母さんに感謝の言葉をのべ清々しい一日となりました。10周年を記念し関係者の皆様に表彰状を送りました。





大府ロータリークラブ

開催日：2014年11月16日（日）

報告：幹事 中本 和則

東知多・大府RC共催で“東知多・大府ロータリー旗争奪 少年軟式野球21世紀大会”を後援しています。今年で15回目です。開会式は2014年11月16日 日曜日に知多郡阿久比町にあります白沢グラウンドにおいて午前8時に始まりました。各チーム、整然と入場し、大会実行委員長の挨拶に始まり、優勝旗・準優勝カップの返還、選手宣誓そしてロータリークラブ会長による始球式で開始です。

この大会は大府市・阿久比町・東浦町の軟式野球連盟に登録している学童たちで構成され、今年19チームがエントリーしています。団旗・プラカードは各チームが用意し、それぞれ特徴があり見応えがあります。子どもたちの一生懸命なプレーは言うまでもなく、家族の方々の応援も素晴らしいものです。このような将来を担う子どもたちの大会を支援できることを誇りに感じております。また、この大会をずっと支えて下さっている役員の方々には野球の指導はもとより、球場の確保など細部に亘ってご尽力いただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。今後この大会が子どもたちのために長く続く事を願ってロータリーデーの報告といたします。





尾張旭ロータリークラブ

報告：職業奉仕委員長 福岡 健

「市民講座」尾張旭ロータリークラブ 会長 古橋 裕志

開催日 2014年11月30日 尾張旭市中央公民館 3F
2015年 1月25日 尾張旭市中央公民館 3F

私たちクラブは、ロータリーデーとして、市民に開かれたクラブを目指し、ロータリー市民講座を2回開催、メンバーは各業界のプロが在籍しており、講師として、充分に対応できる人たちばかりです。その職業上において、今回は私たちの身の回りに起こりえる事態に、どのように、対応すればいいかという問題に対して、テーマを2つ決めました。

第1弾は11月30日に開催

「知って得する、身近な法律知識」をテーマに、※詐欺商法にご用心、※私はやってない！
※相続を争族にしないため。

講師は菊田法律事務所 所長 弁護士 菊田 利昭君

第2弾は1月25日に開催

「認知症を知ろう」をテーマに ※物忘れは認知症の始まり？ ※認知症はどんな病気？
※認知症は予防できる？

講師は独立行政法人 国立病院機構 東尾張病院 院長 舟橋 龍秀君

百余名受講の市民の皆さまに大変好評で、来訪者の皆さまは熱心に聴き取りメモをとってみえました。様子を垣間見ますと、皆様方が切実に思っていることをテーマにした講演が、大変良かった。これこそ、職業奉仕の実行例ではないでしょうか。





瀬戸北ロータリークラブ

開催日：2015年1月25日（日）

報告：幹事 荒井康夫

平成27年1月25日（日）瀬戸蔵2F つばきホールロビーにてロータリーデーを開催した。

当日は、瀬戸国際センター主催、瀬戸北RC共催の第7回 NIHONGO スピーチコンテストが開催されそれに合わせての実施であった。

つばきホールロビー壁面に、ロータリークラブについての説明、ロータリーの活動（過去の当クラブ実施事業「さくらんぼ学園ミニ農園づくり」、「瀬戸やき物文化教室 狛犬づくり」、「心の交流 東日本震災支援事業」、「瀬戸染付焼伝統技法の体験」）、東日本大震災被災高校生支援事業、インターアクトクラブ、RYLA 学友会、等を紹介したパネルを展示し、来場者に紹介した。ロータリーに関する簡単なアンケート、クイズに回答してもらい、記念品として瀬戸北ロータリークラブのバナーにある炎のイメージ、裏には“THE FOUR-WAY TEST”をデザインしたクリアファイルを配布した。

100名を超える参加をいただき、一般の方々にロータリーの活動について紹介できるよい機会であった。

スピーチコンテストではブラジル、カンボジア、中国、エジプト、イタリア、ペルー、韓国、ルーマニア、タイ、アメリカ、台湾と11の国、地域から18人の参加があり、“日本に住んで”、“私の大切なもの”をテーマに、小中学生・一般・留学生の3部門で審査が行われました。約250名の参加があり、6～7割は外国の方でした。

審査の間4F多目的ホールにおいておにぎりパーティーが開催され、およそ300人参加がありました。



ロータリーコーディネーター ニュース - 3 月号 -

「第3ゾーン・ロータリー戦略計画推進セミナー」報告

第3ゾーン・RC 補佐 大之木 精二



◎第3ゾーンでは昨年10月に、杉谷 RI 理事ご出席のもと下記日程により
標題通りのセミナーを開催しましたので、その概要を報告致します。

- (1) 日時：2014年10月11日（土）11：00～16：00
- (2) 場所：広島市
- (3) 対象：DG・GE・GN・AG・地区関係委員長
- (4) テーマ：地区・クラブにおける戦略計画の推進及び会員基盤の充
実と公共イメージの向上
- (5) 出席：60名（ゾーン関係者共）

◎グループ6卓によるテーマ別討議を行い、最後にグループ毎報告が為されましたので、その意
見集約を次の通り記述します。

◎【ロータリー戦略計画】

・地区・クラブにおける当該委員会の設置は精々2割程度で、それも十分機能しているとは言えな
い。 ・クラブの強化に戦略計画は最良の指針となり、増強も公共イメージ向上も強いクラブがあっ
てこそ可能との観点より、先ずは地区戦略計画（委）の指導力を高めクラブの戦略計画推進に尽
力する。 ・地区・クラブ共中長期構想の確立が必然であり、その為にも現行の単年度制に拘泥
しない自主的な継続的発想が望まれ、年度毎の執行部との調整の巧拙が問われる。 ・関連的に
CLPの実施状況が話題となり、組織の簡略化や運営の効率化を重視することに傾斜して、本来の
主旨が十分に生かされていないとの危惧がある。地区はこの点についての適切な指導を行うべき
である。

【増強・会員維持・公共イメージの向上】

・昨今人数に執着する余り、増強の真意（クラブ強化）の視点が欠けている傾向がある。 ・全国
一律の数値目標を示したり常套的手法を奨励するのは如何なものか。

・クラブの敷居を低くして先ず入会を認め、クラブに馴染ませる環境作りとロータリー教育の着実
な実施が肝要である。 ・ロータリーに入会して良かったとのロータリーモメントに多く接する機
会を、既存会員共々に提供することが会員維持に有効である。 ・既存会員が更なるロータリー
学習と実践を深めて高質のロータリアンになって初めて、増強への情熱が湧き腰を据えた活動に
繋がる。 ・人口減少の社会構造変化に対応してクラブ単位の増強に拘わらず、クラブ合併によ
る基盤強化も積極的に検討すべきである。 ・Eクラブ・衛星クラブの設立を強力に推進する。 ・
増強も公共イメージの向上も、クラブの強化がその必須条件である。 以上

文庫通信 -329-

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

■ 職業奉仕について

- ◎ 「アーサー・フレデリック・シュルドンの生涯とその学説の特質について—純粹理論の立場から」 小堀憲助 2009 54p
(純粹ロータリー理論からみたロータリーの経営哲学)
 - ◎ 「職業奉仕を考える」 田中作次 2014 3p (D.2770 月信)
 - ◎ 「職業奉仕は日本が元祖 土屋元作」 塚原房樹 2014 1p (D.2510 月信)
 - ◎ 「『職業奉仕』知る (to know) と成る (to be)」 塚原房樹 2014 1p (D.2510 月信)
 - ◎ 「職業奉仕月間によせて」 池田徳博 2014 1p (D.2800 月信)
 - ◎ 「てんびんの詩」 久野薫 2014 1p (D.2680 月信)
 - ◎ 「ロータリーの目的」 久野薫 2014 1p (D.2680 月信)
 - ◎ 「職業奉仕とは」 深川純一 尾道・尾道東 RC 2014 20p
- [上記申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「超入門 職業奉仕の入口」 村井總一郎 2014 36p

[申込先：早川和男 FAX(052)783-3818]

< ロータリー文庫 >

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3F
TEL : 03-3433-6456 FAX : 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

● 2014-2015年度 ガバナー月信 個人配信 登録方法 ●

第2760地区ホームページより、随時受付中！
<ホームページアドレス> <http://www.rotary2760.org/>

- ① 第2760地区のホームページを開き、上部メニューのガバナー情報→ガバナー月信をクリックします。
- ② メルマガ登録という部分に、自分のメールアドレスを2回入力して、登録ボタンをクリックすれば登録完了となります。登録された方には、月初めに月信PDFのリンクが記載されたメールが送信されます。メール内のURLをクリックするだけで月信PDFがダウンロードされ、閲覧していただけます。

メルマガ登録

メールアドレス

ス

(確認用)

前年度登録されていた方は、再登録の必要はありません

会員数及び出席報告（平成 27 年 1 月末）

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1 月 出席率
		2014 年 7 月 1 日	2014 年 7/1 女性	2015 年 1 月末日		1 月	累計	1 月	累計		
南尾張分区	半田	62	4	65	4	2	5	0	2	3	100.00%
	常滑	39	0	37	0	0	0	0	2	4	96.40%
	東海	53	2	57	3	0	5	0	1	4	97.34%
	東知多	19	1	21	1	0	2	0	0	4	78.57%
	半田南	38	1	36	1	0	0	0	2	4	96.43%
	知多	27	3	30	3	0	3	0	0	3	81.88%
	大府	16	0	16	0	0	0	0	0	3	76.83%
	7RC	254	11	262	12	2	15	0	7		89.64%
	西尾張分区	一宮	89	1	90	1	0	4	0	3	4
津島		63	4	67	4	0	4	0	0	4	99.60%
尾西		20	1	20	1	0	0	0	0	3	96.67%
一宮北		38	2	37	2	0	0	0	1	4	93.35%
稲沢		55	1	53	1	0	0	0	2	3	88.80%
あま		79	2	79	2	0	1	0	1	3	100.00%
名古屋清須		28	1	31	2	0	3	0	0	4	93.52%
尾張中央		30	0	33	0	0	3	0	0	3	93.06%
一宮中央		42	6	43	6	1	1	0	0	4	95.35%
9RC	444	18	453	19	1	16	0	7		95.35%	
東尾張分区	瀬戸	64	6	63	6	0	2	0	3	3	98.92%
	犬山	59	0	60	0	0	2	0	1	3	100.00%
	江南	49	0	48	0	0	0	0	1	4	97.58%
	小牧	30	2	29	2	0	0	0	1	3	93.73%
	春日井	56	2	60	2	3	5	0	1	4	96.25%
	尾張旭	25	1	24	1	0	0	1	1	4	77.50%
	名古屋空港	54	1	49	1	0	1	2	6	3	96.19%
	瀬戸北	66	7	66	6	1	1	1	1	4	100.00%
	岩倉	15	1	14	1	0	0	0	1	4	92.86%
	名古屋城北	31	5	30	5	0	1	0	2	4	92.83%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	0	0	0	3	95.00%
	愛知-刈-Eクラブ	22	7	20	5	0	1	0	3	4	100.00%
	12RC	491	37	483	34	4	13	4	21		95.07%
	西名古屋分区	名古屋	182	0	187	0	0	9	1	4	4
名古屋西		96	0	104	0	1	9	0	1	4	81.05%
名古屋南		119	0	122	0	2	5	2	2	4	96.75%
名古屋みなと		71	0	70	0	0	0	0	1	4	100.00%
名古屋東南		77	6	81	6	1	6	0	2	3	91.64%
名古屋中		130	0	133	0	3	5	0	2	2	97.15%
名古屋瑞穂		63	0	63	0	0	0	0	0	4	99.55%
名古屋大須		57	5	58	5	0	3	0	2	4	88.62%
名古屋栄		82	0	87	0	1	5	0	0	3	94.25%
名古屋名南		54	8	52	8	0	0	0	2	3	91.65%
名古屋名駅		80	6	83	6	0	7	0	4	4	99.68%
名古屋丸の内		44	7	52	8	5	8	0	0	3	95.80%
中部名古屋みらい		22	7	22	7	0	0	0	0	4	37.50%
13RC		1,077	39	1,114	40	13	57	3	20		89.21%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	1 月 出席率
		2014 年 7 月 1 日	2014 年 7/1 女性	2015 年 1 月末日		1 月	累計	1 月	累計		
東名古屋分区	名古屋北	91	0	92	0	0	4	1	3	4	98.53%
	名古屋東	87	0	88	0	0	2	0	1	3	89.83%
	名古屋守山	39	3	38	3	0	2	0	3	4	93.59%
	名古屋和合	104	0	102	0	0	0	0	2	4	79.07%
	名古屋名東	59	7	62	9	2	5	0	2	4	89.18%
	名古屋名北	38	5	39	5	1	1	0	0	3	97.12%
	名古屋千種	41	3	40	3	0	0	0	1	4	96.41%
	名古屋昭和	51	2	54	2	2	3	0	0	3	97.16%
	名古屋錦	29	9	28	9	0	0	0	1	4	89.37%
	名古屋東山	31	4	34	7	0	4	0	1	3	93.94%
	名古屋葵	19	0	21	0	1	2	0	0	4	65.48%
	名古屋アイリス	33	12	34	13	0	2	0	1	4	85.29%
	12RC	622	45	632	51	6	25	1	15		89.97%
	東三河分区	豊橋	116	3	116	3	0	3	1	3	4
蒲郡		56	0	55	0	1	1	0	2	4	90.87%
豊橋北		73	4	73	4	0	1	0	1	4	96.18%
豊川		71	1	71	1	0	1	0	1	3	95.83%
田原		43	1	43	1	2	2	0	2	4	91.48%
豊橋南		56	0	56	0	0	1	0	1	2	99.00%
新城		43	2	43	2	0	0	0	0	4	84.31%
渥美		33	0	33	0	1	2	0	2	4	90.32%
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	3	90.48%
豊川宝飯		54	2	59	2	0	6	0	1	4	96.05%
豊橋ゴールデン		64	2	67	2	0	3	0	0	4	97.92%
田原バシフィック		48	1	50	1	0	2	0	0	4	85.13%
豊橋東		42	0	42	0	0	1	0	1	4	89.29%
13RC		714	19	723	19	4	23	1	14		92.35%
西三河分区	岡崎	77	3	86	3	1	10	1	1	3	100.00%
	豊田	93	0	92	0	0	0	0	1	4	99.42%
	岡崎南	95	2	94	2	0	1	0	2	4	99.72%
	豊田西	95	1	93	0	0	2	0	4	3	100.00%
	岡崎東	57	1	58	1	0	3	1	2	4	98.13%
	豊田東	77	0	78	0	0	1	0	0	4	97.22%
	岡崎城南	74	0	74	0	0	1	0	1	4	93.44%
	豊田三好	19	0	20	0	1	2	0	1	3	89.15%
	豊田中	40	6	40	5	0	3	0	3	4	100.00%
	9RC	627	13	635	11	2	23	2	15		97.45%
西三河分区	刈谷	94	4	94	4	0	3	0	3	3	100.00%
	安城	61	4	61	4	0	1	0	1	4	99.15%
	西尾	77	1	79	1	0	4	0	2	4	96.67%
	碧南	68	3	67	3	0	3	1	4	3	100.00%
	西尾一色	25	0	26	0	0	2	1	1	4	96.00%
	高浜	33	2	34	2	1	1	0	0	4	100.00%
	知立	61	0	60	0	0	1	0	2	4	100.00%
	西尾KIRARA	58	0	57	0	0	0	0	1	4	100.00%
三河安城	64	6	64	6	0	0	0	0	4	97.15%	
9RC	541	20	542	20	1	15	2	14		98.77%	

	クラブ	平均
平均出席率	84	93.48%

地区内クラブ数 84 R C	2014 年 7 月 1 日会員数	4,770 名	内女性 202 名	増加会員数（累計）	187 名
	2015 年 1 月末日会員数	4,844 名	内女性 206 名	減少会員数（累計）	113 名
	当月平均出席率	93.48%		差引純増会員数（累計）	74 名

1 月	入会	退会	純増
	33 名	13 名	20 名

